## 【小学校用】

## 平成28年度 幼児教育調査

				市町村立				小学	- 1	記入者氏名		
	I == == += c	00 to the			<b>本に /用)</b>	10 +#1						
1			における幼稚園・認定こと			との埋携に	じいて	(該当	I-O)	【管理職が回答】		
Ι΄.	1 (1) ①幼・保・小連携は必要だと思いますか。											
幼		(2)	必安でのる。 ①で「必要である。」と答				由たむ笠					
稚	1	<i>E</i>	お互いの教育・保育内容を			A 7 0 C 07 2	ЕЩ С 00 П			の発達や学びの連続性を踏まえて、互いの教育・保育を充実させるため		
園	3		特別な支援を必要とする			すろため				で子どもを育てるため		
÷10	5		一貫性のある保育・教育の		✓ IE 1	) 0100				音支援のため		
認定	7		小学校へのスムーズな移行					· .	PINKX L	1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1, 1		
定こ	8		その他	100/1200								
ځ		(3)		もないと	答えた方に	うかがいます	。その理由	をお答え	くださ	ال <sub>ا</sub> ر الم		
ŧ	③ ①で「必要でない」「どちらでもない」と答えた方にうかがいます。その理由をお答えください。											
園												
	(2)	(2) ①平成28年度、幼稚園・認定こども園・保育所(園)との連携を行っていますか。(予定を含む) 【管理職が回答】										
保		行っている 行っていない										
育所		② ①で「行っている」と答えた方にうかがいます。校務分掌の中に連携(交流)を担当する教職員を位置づけていますか。  「「「「「「「」」」「「「」」「「「」」」「「「」」「「」」「「」」「「」										
171			位置づけている   位置づけていない   位置づけていない   位置づけていない   位置づけている   位置づけている   位置づけている   位置づけている   位置づけているいないます   本の理由なお笑き/ださい (辞典するまのするできの)									
園		3	①で「行っていない」と答えた方にうかがいます。その理由をお答えください。(該当するものすべてにO)  幼稚園・認定こども園・保育所(園)の側に積極性を感じない。  2   何をやれば効果的なのか具体的な取組がよく分からない。									
$\smile$	1		別稚園・認定ことも園・保育 時間的な余裕がない。	1月 (国)	の側に積極	性を感しない	0	2 何をやれは効果的なのか具体的な収組がよく分からない。 4 連携する闌がない				
ځ	3			じょ 圏 ・ル	見会部が推	粉なり 離1	1. 5	4 世族りる圏がない				
の	6		連携する幼稚園・認定こども園・保育所が複数あり、難しい。 その他□ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■									
連   6   その他口   その他口   接   ④ 平成28年度における幼稚園・認定こども園・保育所との年間連携(:								画を作成	1 71	<u>)キオか</u>		
125	作成している 作成していない											
2										【管理職が回答】		
						20.20.				FD-71000 11 11		
ス 須出している 須比中でもる 気はしていない									k)			
ター	(2)	(1)7				る際に大			vi とについてお答えください。(該当するものすべてにO)			
١	1		生活科を中核とした合科的・関連的な指導内容を工夫する。							Tる幼児の発達の特性や経験、実態を把握して編成する。		
成り	3		1年生につけたい力やめざす姿を具体化してあらわす。					各教科の目標や指導内容の関連・授業時数を明確にする。				
り キ	5		幼児期の育ちと学びを生かす							持間や学習空間などの環境構成について工夫する。		
ュ	7		小学校の教職員全体で検討		/4/19/17					r職員と校区の子どものめざす姿を共有して、カリキュラムに生かす。		
5	9		ハーナなどが順見主体に使わりる。									
ム 3 (3) (1)で「編成していない」と答えた方にうかがいます。それは、なぜですか。												
# H												
	学校会	生活へ	の不適応(小1プロブレム)の	の状況につ	ついてうかが	います。				【管理職が回答】		
		「小15	プロブレム」とは、小学校に入学	したばかり	の1年生が、	授業中に落ち	<b>動いて話を</b>	引くことがて	きず駆	<b>蚤いだり勝手に歩き回ったり、注意されると感情的になったりするなど、学校生活</b>		
	743		できない状態が続き、学級とし							]から1か月以上継続する。		
	(1)	半成2	25・26・27・28年度の第1章	字年での1								
		-pri hybri.	La year.		25年度	26年度	27年度	28年	皮			
			芯があった。							*4年間の内、1度でも不適応があった → 問(2)(3)(4)へ		
	2		芯に近い状況があった <u>。</u>									
	/ <b>0</b> \		芯はなかった。	- 151 145 1	□ <i>10</i> ± ± .	1 1 1 1 1 1	7 L. LEI v =	/=+ \	11 <del></del>	★ 4年間とも不適応がなかった → 問(5)へ		
	(2)		『「不適応があった」「不適応!					:9。(該Ξ	<u> 当りも</u>	±00 9 ∧ (I=O)		
	1	小地	動応の様子についてお答えくが 「授業中職手に数字の中を立む					9 ±	切 <i>任</i> の	D話が聞けず、みんなとちがうことをしようとする。		
	- 1		授業中勝手に教室の中を立ち歩いたり、教室の外へ出て行ったりす 児童同士のけんかやトラブルが日常的に起きている。			773			7日からの 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10			
	3						4	なことをしている。				
3 学校へ	5		私語が止まず、ざわざわしている。					6	教室内	1にものが落ちていたり、ごみが落ちていたりして、汚れている。		
	7		教室でものが壊されていた	とり、なく	くなったり	することがぁ	っる。					
	5 C O IE											
	(3)	不適	<b>芯の発生の要因と思われるこ</b>			どさい。(該当	するものす					
	1		基本的な生活習慣の定着が不十分だったこと							で活動する経験が少なかったこと		
	3		家庭の教育力が不足してい	いたこと						「個別に教育的配慮や特別な支援を要する児童への指導と全体への指導を適切にで		
o O	_									30 ( 0 3 to 14 ( 1 to 10 ) 3 to 10 ) 3 to 10 ) 3 to 10 ( 10 ) 3 to		
不	5		担任が適切な指導ができなかったこと 小学校の学習・生活スタイルに慣れるまでのカリキュラム (スター				)-e	6 幼・保・小の連携体制が整っていなかったこと 個別に教育的配慮や特別な支援を要する児童に対して、学校としての支援体制が整って				
適	7		小子校の子首・生活スタイパトカリキュラム)がなかった		までのカリ	キュフム (人	9-					
応	9 その他							° いなかったこと				
の	(4) 不適応において実施した対処についてお答えください。(該当するものす						のすべてに	(O)				
状	1		他の教諭が学級に入り協力				1		管理職	最が学級に入り協力的な指導を行った。		
況	3		教育委員会による人的措置を			*				が学級担任を指導しながら、学級担任が一人で継続して対応するようにした。		
l	5		保護者に協力を依頼し、			た。				方に協力を依頼し、学級に入ってもらった。		
l	7 その他											
l	(5)		「不適応はなかった。」と答え									
l			応発生の予防に効果的と思す	われる対応	た策について		い。(該当	するもので	すべて	(ICO)		
1	1		学級担任の補助となる指導	算員等の酢	记置			2	学級推	担任の補助となる地域ボランティアによる協力体制の確立		
l	3		学級担任の補助となる保護	隻者による	る協力体制の					旦任の指導力向上にかかわる研修		
l	5		就学前の園における小学校へ							・・小連携による就学前や就学後(スタートカリキュラム)のカリキュラム作成		
7 幼・保・小連携による年長児と小学1年生児童との交流学習の充実 8 幼・保・小連携による教職員の合同研修や情報交換									・小連携による教職員の合同研修や情報交換			
1	9		少人数の学級編成									
l	10 その他 (6) 幼稚園・認定こども園・保育所(園)への願いや要望がありましたら、お書きください。											
1												
$\vdash$	太年:	中1世	旧音の次についてこかがり	\± #						【1年担任が回答】 記入責任者名		
4 一年生の姿	本年度入学児童の姿についてうかがいます。									1. 十足山が間台』 8.八尺山田石		
	1 早寝早起きが身についていないこと 2									D 差 的 わ 身 の 同 り の 軟 理 軟 値 が ボ き か い っ し		
	1									<ul><li>う着脱や身の回りの整理整頓ができないこと</li><li>うことを自分でしようとせず、人に頼ろうとすること</li></ul>		
	- 3		排使の目立かでさていない あいさつや返事ができない							Jことを自分でしよりとせり、人に頼つりとりること 話を集中して聞けないこと		
	7				+ /21.1 = 1					aを集中して囲りないこと 豊いが乱暴であること		
	9		個本でお話などを興味を 自分の思ったことを相手に			ナンレンニ レ	1			EIVか乱衆でめること E活のきまりが守れない(集団行動ができない)こと		
	11		物事の善悪が分からないこ			· % v · C C	1			にはいきょりが、行んなく (集団1動が ときなくりこと したり協調したりすることが苦手であること		
	13		最後までやり遂げることがで		中であキた	めてしまう。				と仲良く遊べない(人間関係づくりが苦手)こと		
	15		東後まじてり延りることが すすんで体を動かすことがき			シェレムノニ	1			#いが多かったり、食べるのに時間がかかったりすること		
	17		箸の持ち方や食事のマナー			いこと	1			で守って行動することが苦手であること		
_			きちんと椅子に座ることが			,	2			である。 で数に対する興味や理解に個人差が大きいこと		
	10							-	<u>~ г \</u>			
	19 21		話を聞くとき - 遊気ときの			ないこと	0	2 4	鉛筆の			
	21		話を聞くとき、遊ぶときの その他			ないこと	2	2 4	鉛筆⊄	で数に対する興味で理解に個人左か入さいこと D持ち方、はさみの使い方などの技能が身についていないこと		
			話を聞くとき、遊ぶときの その他 特になし			ないこと	2	2 \$	鉛筆の			

- 力する場合の注意事項
   ・セルや行・列の、挿入、削除、結合などは絶対に行わないこと
   ・「〇」は、該当セルを選択しプルダウンメニューで入力すること
   ・数字を入力する欄には、半角英数文字で入力すること
   ・文章記入の場合は、枠内のセルに入力する。折り返し表示に設定されている櫓に入りきらなくてもよい